

むりぶし

群星 muribushi

2026/隔月発行

September-October

9・10

月号



特集

- ◆ 生成AIが変える 県内企業の業務改革
- ◆ やんばるの未来を拓く
～世界自然遺産と持続可能な観光への挑戦～



427号

2026
September-October

むりぶし

群星 muribushi

本誌のタイトルについて

群星（むりぶし）とは、
沖縄の方言で「昴星（すばるぼし）」のことで
「ぶりぶし」、「むるぶし」とも呼ばれます。

◆ 連載企画 ◆

1 さんぺいの沖縄そば紀行 第3話

20 沖縄の伝統的工芸品 その2

◆ 特集 ◆

2 特集① 生成AIが変える 県内企業の業務改革

4 特集② やんばるの未来を拓く ～世界自然遺産と持続可能な観光への挑戦～

◆ 仕事の窓 ◆

8 ① 沖縄で起きた事件と公正取引課の取組を紹介！
～令和7年度における沖縄地区の取適法及びフリーランス法の運用状況について～

10 ② 地方公会計情報活用セミナーを開催しました！

11 ③ 県外でも、「かりゆし」クールビズ♪

12 ④ すべての子どもたちが安全で安心に過ごせる地域社会づくりを目指して

⑤ 6月は「食育月間」です。いちやりば食育パネル展を開催しました！

13 ⑥ 国営かんがい排水事業「多良間地区」の分室開所式
～宮古圏域農業水利事業所多良間分室 看板揭示式・開所式を開催～14 ⑦ 沖縄から初受賞！一般社団法人デポアイランド通り会
～地域にかがやく わがまち商店街表彰2026～

県内大学生が中小企業の魅力を発信！

15 ⑧ 中小企業魅力発見フェア2026
～若い感性で探る中小企業の魅力と可能性～

16 ⑨ Meet Up ECoC! — Face to Face — 2026 in Okinawa

⑩ 9月は自賠責制度広報・啓発期間です！

17 ⑪ 令和8年度陸運関係功労者等陸運事務所長表彰式を開催

⑫ 2026年「海の月間」について
～海への理解を深めていただくための取組を行いました～

18 ⑬ 開発建設部所管優良業者等の表彰・災害復旧等支援活動感謝状について

◆ お知らせ ◆

18 人事異動

◆ なかゆくい ◆

19 クイズ(うちな～んQ)

◆ 内閣府だより ◆

21 夏休みに内閣府を見学 こども霞が関見学デー

表紙写真



「港の朝」

南風原町立南風原中学校3年
金城 江莉奈 さん

この作品は、今年の「海の月間」
(7月1日～31日) 行事の一環と
して実施された「中学生海の絵画
コンクール」(主催：公益社団法人
沖縄海事広報協会、後援：沖縄
総合事務局)の金賞受賞作品です。
沖縄県内の中学校から応募があっ
た作品の中から選ばれました。

審査員から「大漁の喜びにあふ
れる人物の表情が生き生きとして
描かれ、朝日と海面描写が実に巧
妙で、画面構成の工夫が優れてい
た。」と素晴らしい講評を受けま
した。

うちな～んQ

今日から使える
沖縄雑学クイズ 問題

大宜味村の名産、芭蕉布。原料の糸芭蕉は何の仲間？

①バナナ ②さとうきび ③パイナップル

≫ 答えは P19!

第3話

沖縄そばの木灰そばとは？

初期の沖縄そばの最大の特徴は、木灰（もつかい）を用いて麺を作っていた点です。この木灰を用いた伝統的な麺作りは現在も一部の店舗で受け継がれており「木灰そば」などの看板が掲げられています。

木灰と聞いてびっくりする方もいるかもしれませんが、麺に灰そのものを用いるのではなく、木の灰を水に入れ、できた上澄みの液である灰汁（あく）を使います。

今ではラーメンと同様にかん水を用いますが、最初期の沖縄ではかん水が手に入らなかったことなどから、この製法が用いられました。

ジュマルなどの木の灰を水に入れます。その後、攪拌を行い、一晚放置してから灰を沈殿させ、上澄み液を取ります。小麦粉に灰汁と塩を加え、灰汁を全体になじませ、手のひらを使って揉んでいきます。小麦粉の塊を1時間ほど寝かせた後、製麺機などを用い生地を伸ばしていき、麺状にカットすれば完成です。

木灰汁は強いアルカリ性であるため、かん水同様の効果をもたらします。その特徴は、独特の風味、特有のコシにあると言われており、麺が黄色くなる効果があります。昔の沖縄そばを食べ慣れてきた年配の方の中には、今でも木灰そばのファンが根強くいらつしやいます。

沖縄そばの伝統的な技法である木灰そばですが、1950年頃以降、かん水に取って代わられました。原因は、かつては薪を使って火を起こしていたのがガスに変わったこと。さらに、現在ではこの木灰を作る作業自体が個人では難しくなっている点が挙げられます。

木灰そばは、ラーメンやうどんには見られない、沖縄そば創成期のオリジナルの技法と言えます。今では数少ない店舗や個人によって技法が継承されています。

PROFILE【プロフィール】

さんぺい沖縄そば発信家。本名：山城晋平（やましる しんぺい）。1976年那覇市生まれ。2012年に沖縄そばの食べ歩きを始め、ブログやSNS等で沖縄そばを広める活動を行っている。2023年5月TBS「マツコの知らない世界（沖縄そばの世界）」に出演。2025年には沖縄そばグランプリや桜坂劇場での「沖縄そばの日」イベントを企画・実施。著書に『さんぺいの沖縄そばの歩きかた』（ポーターインク、2025年）がある。
※本連載は、著者のさんぺい氏の沖縄そば食べ歩き体験に基づいた感想や考察を基に構成されています。



① 木灰の原料となる薪



② イジュの木などから取った木灰



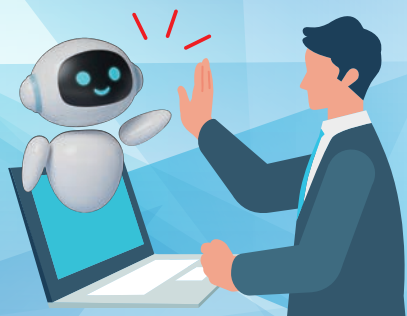
③ 水に木灰を入れて攪拌を行う



④ 木灰を沈殿させる



⑤ 小麦粉・木灰汁・塩で麺作りを行う



生成AIが変える 県内企業の業務改革

AI

人手不足時代の新たな挑戦 ～OTSが進める業務改革～

生成AIの広がりが地域の企業にも

文章作成や情報整理などを行う「生成 AI」の活用が急速に広がり、近年では大企業だけでなく、中小企業や地域企業でも導入が進み、業務効率化や人手不足への対応策として注目されている。

沖縄県内においても、観光業やサービス業を中心に

デジタル技術の活用が進みつつある。特に観光需要の回復に伴い、人材確保や業務効率化が経営課題となる中、生成 AI は企業活動を支える新たな選択肢となっている。

今回は、旅行・レンタカー事業を展開する**沖縄ツーリスト株式会社**（以下、OTS）の取組を通して、生成 AI 活用の可能性について紹介する。



AI

現場の課題から始まった生成AI導入

企業概要

OTSは沖縄県内で旅行事業やレンタカー事業を展開する企業である。観光需要の回復に対応する一方、人手不足や業務の属人化といった課題への対応が求められていた。

こうした中、2026年6月1日付で総合商社・丸紅株式会社と資本提携を実施。丸紅グループが持つネットワークやDX・AI分野の知見を導入し、インバウンド誘客の強化やレンタカー事業の最適化、地域観光のプラットフォームの構築を目指している。

「便利そう」から「業務改革」へ

生成AIへの関心が高まる中、OTSでも一部の社員が活用していた。しかし、利用は特定の部署やデジタルツールに慣れた社員が中心で、全社的な広がりには至っていなかったという。そこで同社は、「AIを導入すること」ではなく、現場の課題解決を目的に生成AIの活用をスタートした。

その一環として導入したのが、丸紅が運用する**企業向け生成AI「Marubeni Chatbot」**だ。一般的な生成AIサービスとは異なり、社内資料や機密情報を安全な環境で活用できるほか、部署ごとに業務に

応じたオリジナルのChatbotを作成できるため、それぞれの現場に合わせた活用が可能となっている。

現在は社内にDX推進のための「DX分科会」を設置。現場の管理職や担当者に加え、丸紅のデジタル専門チームも参加しながら、業務課題の洗い出しや活用方法の検討を進めている。

また、7月には社内全体でChatbot活用講習会を開催。まずは生成AIに触れる機会を設けることで、一部の社員だけでなく全社員が活用できる環境づくりを進めている。

担当者は「生成AIを一部の詳しい人だけが使うのではなく、社員全体がAIを日常業務の中で活用できる文化をつくっていききたい」と話している。

▼画面（Marubeni Chatbot）



AI

旅行提案業務を効率化

過去のノウハウをAIで共有

旅行部門では、お客様から旅行相談を受けた際の提案作成に生成AIを活用している。

従来は営業担当者が過去事例や他部署の資料を探しながら行程表や旅行プランを作成していたため、提案書作成に数日を要する場合もあった。

現在は、これまで蓄積してきた旅行プランや提案ノウハウをChatbotに取り込み、条件を入力すると提案のたたき台を生成できる仕組みづくりを進めている。

担当者は「これまで社内に分散していた情報を集約し、必要な情報へすぐにアクセスできることが大きい」と話す。

生成AIが全てを自動化するわけではないが、提案内容の



検討時間を短縮し、よりお客様とのコミュニケーションに時間を使えるようになることが期待されている。

社内規則の問い合わせにも活用

旅行業務以外にも活用は広がっている。

就業規則や勤怠管理マニュアルなどを読み込ませたChatbotを作成し、社員が必要な情報を検索できる仕組みづくりを進めている。紙のマニュアルを探したり、担当部署へ都度確認したりする手間を減らし、業務の効率化につなげる狙いがある。



AI

属人化の解消と人手不足への対応

レンタカー部門では、長年の経験を持つ担当者が独自に作成したExcelデータや運用ルールに基づいたオペレーションが多く存在しており、こうした業務は担当者個人に知識が集中しやすく、異動や退職があった場合に業務継続のリスクとなる。そこでOTSでは、業務手順やノウハウを整理し、生成AIやデジタルツールを活用して共有できる仕組みづくりを進めている。

担当者は「人に依存していた業務を整理し、誰でも対応できる環境を整えることが重要」と話す。

さらに将来的には、需要予測や価格設定などの分野への応用も視野に入れているという。こうした取組は、沖縄県内の多くの企業が直面する人手不足への対応策としても期待されている。



AI

地域全体への波及に期待

OTSでは今後も社員向け研修や活用事例の共有を進め、生成AIを日常業務に定着させていく方針だ。

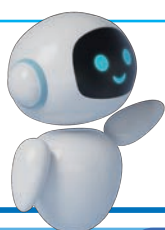
また、現在は社内業務の効率化を優先しているが、その先には顧客サービスの向上や新たな事業創出の可能性も見据えている。

生成AIは人に代わる存在ではなく、人の経験や判断力

を支え、より創造的な仕事に時間を使えるようにするための道具である。

沖縄の観光産業をはじめ、さまざまな分野でデジタル技術の活用が進めば、地域全体の生産性向上や持続的な成長にもつながるだろう。OTSの取組は、その可能性を示す一つの事例として注目される。

沖縄ツーリストでは
生成AIを
活用しているよ



お問い合わせ先 経済産業部 地域経済課 ☎098-866-1730



比嘉明男

一般社団法人沖縄やんばるDMO特別参与理事
一般社団法人国頭村観光協会会長

やんばるの 未来を拓く

「世界自然遺産と
持続可能な観光への挑戦」

沖縄最北端 ©国頭村観光協会

やんばるの川

1 やんばるの魅力

国内最大級の亜熱帯照葉樹林が広がる国頭・大宜味・東の3村にまたがるエリアは、2016年9月15日に全国33番目の国立公園として環境省より指定を受けました。さらに2021年7月26日には、奄美大島、徳之島、沖縄本島北部及び西表島が世界自然遺産に登録されました。学術的に価値の高い地形や希少な生態系、豊かな生物多様性が認められたことによる登録で、日本では5番目となります。今年には国立公園指定10周年、世界自然遺産登録5周年という、大切な節目の年を迎えています。

私の住む安田集落はそのエリアに位置し、世界でここにしか生息しないヤンバルクイナやノグチゲラ、ヤンバルテナガコガネなど4,500種を超えるといわれる貴重な動植物が息づいています。ヤンバルクイナは1981年に新種として発見された全長約30センチの「飛べない鳥」で、1985年の調査では約1,800羽の生息が確認されていました。しかし、マングースや野生化した飼い猫などによる捕食により生息数が急減し、2005年には700羽まで激減、絶滅が危ぶまれました。

こうした状況を受け、2002年に安田区ではヤンバルクイナの絶滅を防ぐという機運が高まりました。「自然との共生と地域資源の保護と活用」をコンセプトに掲げ、地道な取り組みが始まりました。当時、区民の中には「ヤンバルクイナを守ってメシが食えるか」という声もありましたが、粘り強く活動を続け、2002年には全国初となる「安田区ネコ飼養に関する規則」を制定しました。この取り組みは国頭村をはじめ奄美や全国へと広がっていきま

した。2005年には長嶺先生（NPO法人どうぶつたちの病院沖縄理事）が「ヤンバルクイナ救急救命センター」を安田区に開設され、区は元幼稚園の施設を無償で提供しました。安田小学校の子どもたちもヤンバルクイナへの給餌活動に取り組み、2007年には「環境大臣賞」を受賞しました。子どもたちの積極的な参加が区民の意識を変え、自然環境に関するさまざまな取り組みへと発展しました。こうした安田区の活動は高く評価され、2005年「明日への環境賞」（朝日新聞社）、2012年「うちなー地域づくり大



ヤンバルデナガコガネ



ヤンバルクイナは
1981年に新種として発見された
©国頭村観光協会



コノハチョウ



オキナワイボイモリ

やんばるに生息する生き物



幻のカエル
オキナワイシカワガエル
©国頭村観光協会



ノグチゲラ



リュウキュウヤマガメ



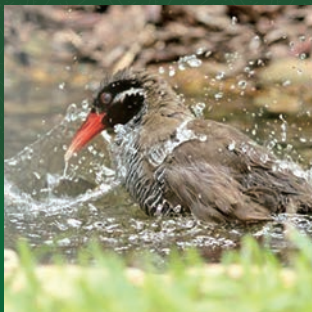
アカショウビン

賞（沖縄県奨励賞）を受賞しました。

国頭村においても、当時の上原康作村長がヤンバルクイナを保護するシェルター設置の予算として約6,000万円を議会に提案しました。一部の議員や村民からは予算の無駄遣いとの声も上がりましたが、上原村長が丁寧に議員の皆さんの理解を得た結果、2006年3月26日、安田エリアに「ヤンバルクイナ保護シェルター」が設置されました。広さ13万7,000平方メートル、高さ約2.7メートルのフェンスで囲まれたこのシェルターは、マングースや野生化したネコなどからの捕食を防ぎ、ヤンバルクイナの保護と生態研究を目的としたものです。

懸命に張り続けました。この様子はマスコミに大きく報道され、世論の強い後押しを受けて国や県の動きも一気に加速しました。その後、マングース対策として北上防止柵（SFライン）が設置され、2010年には環境省が「ヤンバルクイナ飼育繁殖施設」を安田エリアに設置しました。

安田区や国頭村が長年にわたり積み重ねてきた地道な取り組みが、2021年7月26日の世界自然遺産登録への礎となったと、私は確信しております。



食後の水浴び
©国頭村観光協会



比嘉 明男

一般社団法人
国頭村観光協会会長

1953年沖縄県国頭村生まれ。1974年国頭郵便局に入社。国頭村および東村の郵便局長を歴任し、地域に根ざした郵便事業に長年携わる。2018年から2年9か月にわたり、沖縄県出身者として初となる日本郵便沖縄支社長を務める。退職後は、国頭村観光協会会長に就任。世界自然遺産に登録された「やんばる」の豊かな自然環境を守りながら、地域資源を生かした観光振興と国頭村の活性化に取り組んでいる。また、やんばるDMO特別参与理事として、国頭村をはじめ離島を含む沖縄本島北部地域の観光産業の振興にも尽力。地域の自然、文化、人の魅力を生かし持続可能な観光地域づくりを目指して活動している。

やんばるの魅力



©アズムイハイクス



ガジユマル

DMOとは？

Destination
Management/Marketing
Organization

地域の多様な関係者と協働し、
科学的アプローチを取り入れた
観光地域づくりの司令塔となる法人

●沖縄やんばる DMO の設立については
「群星 2026 年 5・6 月号」をご覧ください。

一般社団法人 沖縄やんばる DMO
構成 12 市町村

- 名護市
- 大宜味村
- 今帰仁村
- 恩納村
- 金武町
- 伊平屋村
- 国頭村
- 東村
- 本部町
- 宜野座村
- 伊江村
- 伊是名村



2 沖縄やんばる DMO の設立と役割

やんばる（山原）とは、「山々が連なり、鬱蒼とした常緑広葉樹の森が広がる地域」を意味し、3 離島（伊江島、伊是名島、伊平屋島）も含めた沖縄本島北部地域 12 市町村（南は金武町・恩納村から北は国頭村まで）のことをいいます。私が若い頃は「やんばらー（田舎者）」とよく揶揄されたものですが、時が経った今や「やんばる」は世界自然遺産のエリアを中心に沖縄観光の目玉として多くの施設が生まれ、注目度が高まっています。

『沖縄やんばる DMO』（以下、やんばる DMO）は、北部 12 市町村における素通り観光の解消や宿泊日数の増加、周遊促進などの広域的な課題解決に向け、10 年をかけて設立が検討されてきました。その目的は、『やんばる地域の自然・文化・住民生活と調和した持続可能な観光地域づくりを推進することにより、観光を通じてやんばる地域の本質的価値を世界へ提供し、地域の所得と幸福度及び観光客の満足度の向上を図るとともに、経済効果の最大化と環境負荷の最小化を両立させ、地域と来訪者が共に幸せを分かち合う豊かな未来の実現に寄与すること』と定められています。またそのパーパスは、

『やんばるの奇跡的な自然と、そこで育まれた文化、つまり「生命の輝き」を守り、未来へ継承する。そして、その価値を地域経済の力に変え、一過性ではない「持続可能な豊かさ」を実現し、「保護」と「振興」の二項対立を乗り越えること』にあります。これこそが、やんばる DMO の存在意義といえるでしょう。そのパーパスを具現化するために、次の 2 点を提案したいと思います。

1 つ目は、二次交通のインフラ整備です。近年、車を運転せずにバスなどを利用する観光客が増えており、特に欧米からの旅行者の間ではバスを利用して何日もかけて旅を楽しむスタイルが広がっています。現在、那覇空港から名護市内を経由して本部町・今帰仁村へ向かうシャトルバスが毎日数十便運行されています。これを名護漁港内にアクセスさせ、そこから北部各エリアへと移動できる二次交通の仕組みを整えることで、各市町村での周遊を促進し、車を持たない方でもやんばるの観光を存分に楽しめる環境が実現します。

2 つ目は、高速通信インフラの整備です。現代は SNS の時代であり、



自然環境を生かした 魅力溢れる施設

- アスミイハイクス
沖縄石の文化博物館
- ヤンバルクイナ
生態展示学習施設
- やんばる学びの森
- 道の駅やんばる
パイナップルの丘安波
- やんばる世界遺産センター・
ウフギー自然館
- 道の駅ゆいゆい国頭
- やんばるホテル南浜森室
- やんばるの
森のおもちゃ美術館

観光地を訪れる多くの方がスマートフォンで撮影し、映像を友人・知人と共有しています。SNSは今やテレビコマーシャルをしのぐ影響力を持っています。やんばる地域には素晴らしい伝統芸能や食文化が数多く存在します。これらを観光コンテンツとして磨き上げ、発信力を強化するとともに、各地域が連携して**滞在型観光**を推進し、宿泊日数の増加を目指すことが重要です。

今年は「やんばる国立公園」指定10周年、世界自然遺産登録5周年の節目の年です。国頭村には、自然とつながる暮らしに新たな価値を見いだす美しい集落・謝敷に、文化・自然・人との触れ合いをコンセプトとする「**やんばるホテル南浜森室**」があります。辺戸岬方面には、古くから聖なる地として伝えられてきた安須森の山中を歩ける施設「アスミイハイクス」があり、沖縄の島々の岩石から成り立ちの歴史を学ぶ「**沖縄石の文化博物館**」が設けられています。太平洋側の東ラインにはヤンバルクイナを観察できる「ヤンバルクイナ生態展示学習施設」があり、人と自然のつながりを体験プログラムを通じて楽しく学べる「**やんばる学びの森**」もあります。今年3月には

国頭村森林公園内に「やんばるの森のおもちゃ美術館」が、7月には「やんばる世界遺産センター・ウフギー自然館」がそれぞれリニューアルオープンしました。地域の特産品売り場としては、国頭村の入り口に「道の駅ゆいゆい国頭」、東ラインには太平洋とやんばるの丘を望む「道の駅やんばるパイナップルの丘安波」があります。国頭村には自然環境を生かした魅力あふれる施設が充実しており、沖縄県の奥座敷であるこの地に人の流れを生み出すことが、沖縄県観光の発展につながるものと確信しています。

沖縄観光を「量から質へ」と転換し、訪れる方々に安心してゆっくりと楽しんでいただくためには、二次交通及び高速通信インフラの整備が急務であり、国・県及び各自治体にとっての大きなテーマといえます。

「沖縄やんばるDMO」は、表層的な観光ではなく、やんばるの自然の奥深さや文化の豊かさに触れる本物の体験を提供し、「脆弱な受け入れ環境」を改善することで、質の高いおもてなしにより旅行者が生涯忘れられない思い出を持ち帰る未来をビジョンとして、今まさに産声を上げたところです。



7・8月号に引き続き、今年6月に沖縄総合事務局総務部公正取引課が公表した、令和7年度における沖縄地区の運用状況のうち、取適法及びフリーランス法の運用状況をご紹介します。

取適法

令和8年1月に下請法から名称が改められました。中小受託取引の公正化と中小受託事業者の利益保護を目的に、委託事業者の義務と禁止事項を定めています。対象となる取引は事業者の規模要件と取引の内容で定めています。紹介する事例はすべて改正前に行われた行為です。

沖縄地区における取適法の運用状況の詳細はこちら

沖縄で起きた事件と公正取引課の取組を紹介！
～令和7年度における沖縄地区の取適法及びフリーランス法の運用状況について～

●不当な経済上の利益提供要請の禁止
（下請法第4条第2項第3号）

金型等を用いて製造する製品や部品の製造を下請事業者へ委託している（株）YKK AP 沖縄及び琉球YKK AP工業（株）は、部品の発注を長期間行わないにもかかわらず、下請事業者に金型を自己のために無償で保管させていた。

※YKK AP（株）に対する件と同時に勧告・公表しました。

発注者
(事業の概要)

① YKK AP(株)
(建材等の製造販売等)

② (株) YKK AP 沖縄
(建材の製造販売等)

③ 琉球YKK AP 工業(株)
(建材及び工具の製造販売等)

受注者の受託内容

① 建材等又はその部品の製造

② 建材の部品の製造

③ 建材及び工具並びにその部品等の製造

※①～③は発注者の番号に対応している

●下請取引の内容

建材等の製品又はその部品の製造を委託など

●金型等の管理

YKK APら(以下「3社」という。)は、建材等の製品又はその部品の製造に用いる3社や下請事業者等が所有する金型等に関し、それぞれの下請事業者との間で、金型等の引取り又は廃棄を希望する場合は申出の上、3社の承諾を得るよう求めるなどしていた。

●違反行為の概要
(不当な経済上の利益の提供要請)

3社は、金型等を用いて製造する製品又はその部品等の発注を長期間行わないにもかかわらず、受注者に対し、右の表のとおり、金型等を無償で保管させた。

発注者名	受注者数	保管させた金型等の数
YKK AP	67名	4,997型
YKK AP 沖縄	1名	1型
琉球YKK AP工業	6名	87型

※上記型数のうち、YKK APは1,784型を、YKK AP 沖縄は1型を、回収又は廃棄した。
また、受注者と協議の上、YKK APは総額34,141,025円を、YKK AP 沖縄は77,000円を、琉球YKK AP工業は総額316,043円を、それぞれの下請事業者へ支払済み。

●下請代金の支払遅延の禁止
（下請法第4条第1項第2号）

運転代行業務等を下請事業者へ委託しているA社は、一部の下請事業者に対し、自社の事務処理が遅れたことを理由として、下請事業者が役務を提供したにもかかわらず、あらかじめ定められた支払期日までに下請代金を支払っていないかった。



●下請代金の減額の禁止
（下請法第4条第1項第3号）

システム構築等の業務を下請事業者へ委託しているB社は、下請事業者との協議により単価を引き下げることをし、引下げ後の単価は特定月から適用することを下請事業者との間で合意したにもかかわらず、特定月の前月から引下げ後の単価を適用することにより、下請事業者の責めに帰すべき理由がないのに、下請代金の額を減じていた。



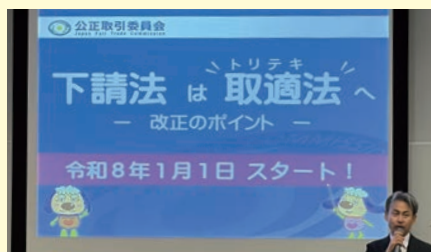
フリーランス・ 事業者間取引適正化等法 (フリーランス法)

フリーランスの方が安心して働ける環境の整備を図ることを目的に、多種多様な業界で活躍しているフリーランスとの業務委託取引について、取引の適正化と就業環境の整備の2つの観点から、発注事業者が守るべき義務と禁止行為を定めています。

沖縄地区における フリーランス法の 運用状況の詳細



なお、今回紹介した取適法とフリーランス法について、より理解を深めていただくために、取適法講習会・フリーランス法説明会を開催する予定です。



最新!

▲昨年度の様子

価格転嫁・取引適正化ルールの説明会
—取適法・新告示・ガイドラインから
官公需取引まで丸ごと説明—



●取引条件の明示義務違反

(フリーランス法第3条)



建設業を営むC社は、データ収集・分析業務等をフリーランスに委託しているが、業務委託をした場合に直ちに明示事項が記載された書面等を交付又は提供しなかった。

●期日における報酬の支払義務違反

(フリーランス法第4条)



道路貨物運送業を営むD社は、商品POPデザイン制作等をフリーランスに委託しているが、フリーランスから請求書が提出されたものについて、請求書提出日を基準に報酬を支払っており、給付を受領した日から起算して60日を超えて報酬を支払うこととなるおそれがあった。

●報酬の減額

(フリーランス法第5条)



アクティビティ事業を営むE社は、ウェブ集客管理業務等をフリーランスに委託しているが、フリーランスとの間で書面等によって明確に合意することなく、報酬を支払う際の振込手数料をフリーランスに負担させていた。

●買いたたき

(フリーランス法第5条)



観光体験プログラムを提供するF社は、アウトドア体験の指導員業務をフリーランスに委託しているが、フリーランスに支払う報酬額を、フリーランスと協議することなく一方的に決定した。

▶お問合せ先 総務部 公正取引課 ☎ 098-866-0049

地方公会計情報活用セミナーを開催しました！

仕事
の窓2

財務部



セミナー資料等

財務部理財課では、地方公共団体の健全な財政維持を目的として、財務状況把握ヒアリングや公営企業への実地監査、課題把握ヒアリングを行っています。令和5年度には常設の「地域課題解決サポート窓口」を設置するなど、地方公共団体との積極的な接触を通じて各団体が抱える地域課題の把握に努めるとともに、課題解決に向けた情報の提供やセミナーの開催を行っています。このほか、財務部では、国有財産の有効活用の推進、財政教育や金融教育の出前講座などの地域連携の取組みも進めています。

こうした取組の一環として、理財課では、前年度に実施した「課題把握ヒアリング」において複数の団体から「予算項目の『決算統計』への振り分けが煩雑で大きな事務負担になっている」との声が聞かれたことを受け、各団体の課題解決につなげることを目的に、令和8年6月18日、ウェブ方式による「地方公会計情報活用セミナー」を開催しました。

同セミナーには、各団体の財政担当課や事業担当課を中心に約30名の職員に参加いただきました。公認会計士の前島修氏・仲尾国弘氏からは、定量的根拠を持った政策形成や地域住民への理解促進に向けた公会計情報の活用方法、貸借対照表と損益計算書の関係についてご説明いただき、熊本県宇城市前副市長の天川竜治氏からは、公共施設マネジメント等への会計情報活用について、実践事例を踏まえた詳細なご説明をいただきました。

参加者からは、「今回のセミナーは大変勉強になった」「普通会計担当の職員にもぜひ受講してもらいたい内容だった」などの声が聞かれました。

財務部理財課では、今後も「財務状況把握ヒアリング」などの団体との接触の機会や「地域課題解決サポート窓口」を活用し、各団体の課題解決に向け積極的に支援してまいります。

▼お問合せ先

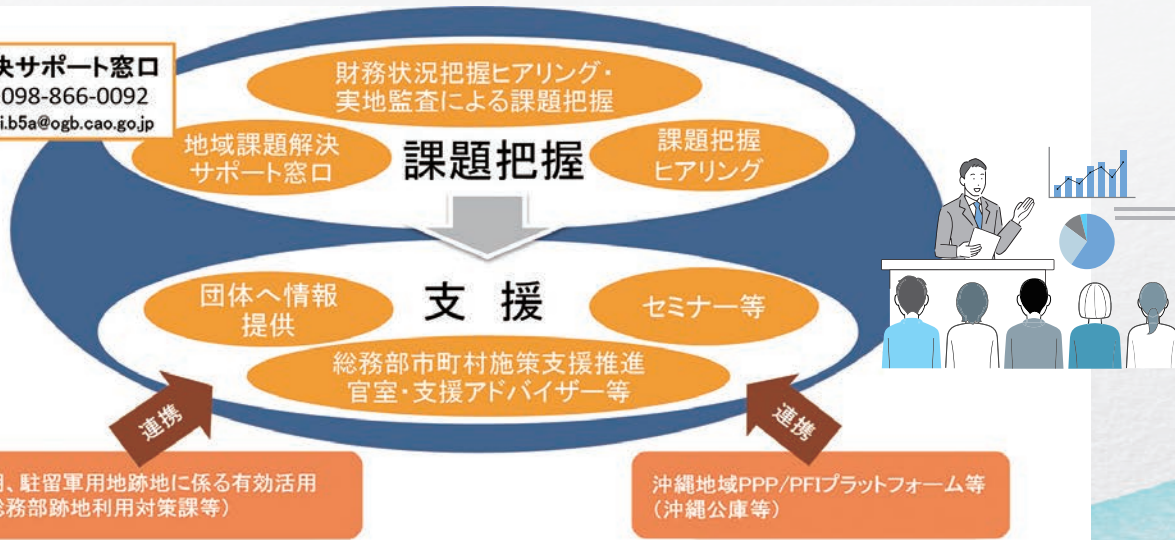
財務部理財課「地域課題解決サポート窓口」
☎098-866-0092

地域課題解決サポート窓口
財務部理財課：098-866-0092
E-Mail: okiyuushi.b5a@ogb.cao.go.jp

相談
できます！



地域課題解決
サポート窓口



地域課題解決サポート窓口

県外でも、「かりゆし」クールビズ♪

仕事
の窓
3

財務部



【北海道財務局 北見出張所】



【財務省】



【かりゆし九州財務局の日】

地域貢献のプロジェクトチームである「美らざいコネクト」は、「かりゆしウェア（沖縄振興）×クールビズ（脱炭素）」の普及・推進のため、当部と関係のある財務局等に対して、「かりゆしウェア」を着用して、クールビズに取り組んでもらうように働きかけを行いました。

「かりゆし財務局」（毎週水曜日）

その結果、クールビズの一環として、9月30日までの毎週水曜日、職員のかりゆしウェア着用を奨励・周知する日として、「かりゆし九州財務局」及び「かりゆし福岡財務支局」の日を設定いただきました。



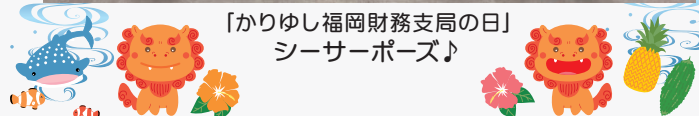
本土最東端 ノサップ岬
【釧路財務事務所】

この他、沖縄出向経験のある財務局職員等に対して、「かりゆしウェア」着用の機運を高めるため、全国で夏が本格化する前の6月24日を目標として、「かりゆしウェア」の着用を依頼いたしました。その結果、沖縄好きメンバー約50名のご協力を得られました。（本稿の写真は、その時に提供を受けたもの）

「かりゆし」水曜日



【かりゆし福岡財務支局の日】
シーサーポーズ♪

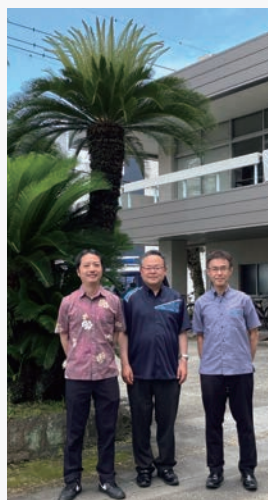


今後の展望

クールビズは、地球温暖化対策（閣議決定）として、官民挙げて取り組むことが求められておりますので、今後も様々な形で、「かりゆし」クールビズ』の取組が県外で広がっていくことを期待しています。

▼お問合せ先

財務部 財務課（地域連携担当）
☎098-866-0091



【宮崎財務事務所】



【関東財務局】



【金融庁】



【中国財務局】



【近畿財務局】

仕事の窓4

財務部

すべての子どもたちが安全
で安心に過ごせる地域社会
づくりを目指して

夏休みを前にした7月19日、青少年の健全育成及び非行防止を目的に、沖縄県社会教育関係団体等連絡会が主催する「地域の子は地域で守り育てる」共同アピール2026が開催されました。

共同アピールでは、那覇市立城北小学校、那覇市立石田中学校、沖縄県立嘉手納高等学校、(一社)檜の森あすなろ児童クラブ(與那嶺樹さん)、那覇市立真地小学校(照屋孝治さん)から、ポスターの制作理由などの発表がありました。



▲ポスター作品紹介



▲ポスターを制作した皆さん

(写真提供:公益社団法人沖縄県青少年育成県民会議)

した。続いて、大会アピール文が参加者全員による読み上げで確認されました。当局は、20歳未満の喫煙防止等に向け、関係団体と連携して取り組んでいきます。

共同アピール文

- 「夜型社会」の改善に向けて、「大人が変われば子どもも変わる運動」を展開しよう。
- 非行や犯罪につながる二十歳未満の飲酒・喫煙・薬物乱用の防止に向けて取り組みよう。
- 子ども・若者が地域活動や行事へ参加することで、社会的な成長が果たせるよう、積極的に社会参加を促そう。
- 18歳未満の子どものスマホ・タブレット使用の際のフィルタリングの設定を徹底しよう。
- SNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス)の利用について、個人情報保護、ツールの扱い方、個人情報流出による被害などについて、親子で話し合いのうえ、各家庭のルールを作ろう。

▼お問合せ先

財務部 理財課
098-866-0092

仕事の窓5

農林水産部

6月は「食育月間」です。
いちやれば食育パネル展を
開催しました!

食育基本法に基づいて策定された食育推進基本計画においては、食育に対する理解を深め、食育推進活動への積極的な参加を促し、その一層の充実と定着を図ることを目的に、毎年6月を「食育月間」と定めています。

また、同計画にて「朝食の欠食を減らす」ことが目標の一つに設定されています(※)。朝食を食べることは栄養バランスに配慮した食生活や基本的な生活習慣を身につける観点から非常に重要です。そのため、当局では食育月間の取組として「朝ごはん食べたかな」をテーマに「いちやれば食育パネル展」を沖縄県立図書館ほか2か所で開催しました。朝食を毎日食べることに考えるきっかけとなるよう、朝食を食べるメリットや美味しい朝食レシピ等を紹介しました。



沖縄県立図書館での展示

※第5次食育推進基本計画における目標(抜粋)

目 標	指 標	目標値 (令和7年度→令和12年度)
朝食の欠食を減らす	朝食を欠食する子供の割合	6.4%→5%以下
	朝食を欠食する若い世代の割合	28.2%→25%以下



食育に関する
情報はこちら



食育ピクトグラム
(食育に関する取組を分かりやすく
抽象化したもの)



食育マーク



沖縄市役所での展示

国営かんがい排水事業 「多良間地区」の分室開所式 ～宮古圏域農業水利事業所多良間分室 看板掲示式・開所式を開催～

仕事
窓の6

農林水産部



【国営事業の概要】

- ◇受益面積：758ha(畑)
- ◇事業費：275億円
- ◇事業期間：令和8年度～令和17年度(予定)
- ◇主要工事：集水池(新設・改修) 5か所
揚水機場(ポンプ場) 10か所
ファームボンド(貯水タンク) 1か所
用水路 24km
水管理施設 一式

このため、国営事業において、集水池の整備により、新たに畑地かんがい用水を確保するとともに、揚水機場、用水路等の整備を行い、農業用水の安定供給を図ることとしています。

多良間島の農業用水は、一部の農地へは県営かんがい排水事業等で造成された用水施設により配水されていますが、大部分の農地では、用水施設が未整備となっています。このため、農業用水は主に降雨に依存し、天候に左右される不安定な農業経営を余儀なくされており、農業振興の妨げとなっています。

宮古圏域農業水利事業所は、国営かんがい排水事業について、平成二十一年から実施している「宮古伊良部地区」に加え、今年度から新たに「多良間地区」を実施することとなり、事業所名を「宮古伊良部農業水利事業所」から名称変更するとともに、多良間島に「多良間分室」を開設しました。多良間島は、沖縄本島から南西の宮古島と石垣島のほぼ中間に位置し、さとうきびを中心に、かぼちゃ等を組み合わせた畑作経営のほか、飼料作物を栽培して肉用牛を飼育する畜産経営が展開されています。



小八木局長からの挨拶

式では、小八木局長からの主催者挨拶に続き、多良間村役場で長い間、事業の着工に向けて尽力されてきた本村多良間村教育長から事業着手

多良間村コミュニティ施設1階ホールにおいて行われた開所式には、沖縄県、多良間村及び沖縄総合事務局の関係者等約80名が出席しました。



左から 石垣施行申請人、伊良部多良間村長、小八木沖縄総合事務局長、安里農林水産部総務調整官、太田宮古圏域農業水利事業所長、大須賀農村振興課長

6月11日には、開所式に先立ち、多良間分室において、伊良部村長、小八木局長等による看板掲示式が行われました。

▼お問合せ先
農林水産部 農村振興課
☎098・866・1652

経緯の説明、太田宮古圏域農業水利事業所長から事業概要の説明が行われました。本事業を契機に、多良間村農業の更なる発展を目指して、農業用水の安定供給に向けた取組を進めてまいります。



開所式参加者による集合写真



沖縄から初受賞！

一般社団法人デポアイランド通り会 ～地域にかがやく わがまち商店街表彰2026～

同通り会の受賞は、デポアイランドエリアにおいて、魅力ある商業空間づくりやにぎわい創出イベントに取り組むだけでなく、行政機関や関係団体との連携により、それらを継続的に進めるためのエリアマネジメントの仕組みを構築している点が高く評価されました。また、台湾との交流連携協定



赤澤経済産業大臣(左)より感謝状を受け取る美底理事(右)

「商店街」という場所を活かし、地域活性化に資する取組を行う者を表彰する「地域にかがやく わがまち商店街表彰2026」に、一般社団法人デポアイランド通り会が沖縄から初めて受賞しました。

本表彰は、受賞者の取組の成功要因を分析し、他の地域へ広く共有していくことに、全国の商店街活性化・地域活性化に繋げることを目的としており、今年度は、全国から15団体が受賞しています。7月10日に経済産業省で表彰式が行われ、赤澤経済産業大臣から各団体へ感謝状が贈呈されました。



表彰式後の記念撮影

による海外との交流促進の取組も評価されています。

7月21日、沖縄総合事務局において受賞報告会を開催し、これまでの取組や今後の展開についてご説明いただくとともに、意見交換を行いました。同通り会の奥原代表理事は「新しいことにチャレンジして、県民、観光客に楽しんでもらえる場所にしたい」と話されていました。

9月には、受賞者をパネリストとするシンポジウム（経済産業省主催）が開催される予定です。

沖縄総合事務局では、今回表彰された取組事例の情報発信等を通じて、沖縄県内の商店街等を基盤とした地域経済の活性化に、引き続き取り組んでまいります。

▼お問合せ先
経済産業部 商務通商課
☎098-866-1731

表彰概要および表彰式の様子についてはこちら(経済産業省HP)



受賞報告を行ったデポアイランド通り会の奥原代表理事(中央)

県内大学生が中小企業の魅力を発信！ 中小企業魅力発見フェア2026 ～若い感性で探る中小企業の魅力と可能性～

仕事
の窓 8

経済産業部



▲プレゼンの様子(県芸×いまいパン)

7月は「中小企業魅力発信月間」です。中小企業庁では、中小企業の存在意義や魅力等に関する正しい理解を広く醸成するため、毎年7月の1ヶ月間を「中小企業魅力発信月間」、中小企業基本法の公布・施行日である7月20日を「中小企業の日」と定め、各地域において中小企業・小規模事業者に関連するイベント等を開催しています。

沖縄総合事務局では、7月1日に沖縄産業支援センターにて、(一社)沖縄県中小企業家同友会、沖縄県、(独)中小企業基盤整備機構沖縄事務所と共催で「中小企業魅力発見フェア2026 ～若い感性で探る中小企業の魅力と可能性～」を開催しました。(中小企業応援フェア2026)と同時開催



▲プレゼン後、企業からコメントの様子(尚学院×近代美術)

本イベントでは、県内の大学生が企業訪問やインタビュー等を通して発見した、中小企業の魅力や、ステークホルダーから「愛される」ために必要なアクションの提案など

プレゼンテーション終了後、来場者らによる投票が行われ、沖縄県立芸術大学(いまいパン(同)、(福)トゥムヌイ福祉会)の2チームと名桜大学(株)ジミの計3チームが優秀賞を受賞しました。

イベント終了後のアンケートでは、参加した学生からは「中小企業に実際に訪問して魅力を探するという、普段できない体験ができた」、「魅力発表後に企業からフィードバックのコメントをいただいたことが、今

後の人生で役立つと感じた」といった感想が寄せられました。協力企業からも、「学生の視点を通して自社の魅力に気づくよい機会となった」といった声をいただきました。

沖縄県内では、企業の99.9%が中小・小規模事業者です。地域の発展を担う中小・小規模事業者の魅力を広げ発信し、地域経済の成長に繋がるよう、今後も関係機関と連携し、中小企業・小規模事業者の支援に取り組んでまいります。

▼お問合せ先

経済産業部 中小企業課
☎098-866-1755



▲参加した学生と企業研究にご協力いただいた皆様

仕事の窓9

経済産業部



Meet Up ECoC! -Face to Face- 2026 in Okinawa
「琉球・沖縄の文化と、次世代を担うクリエイティブな才能を、ヨーロッパへ、そして世界へ」



多くの方が来場し、多様な文化交流が行われました。



欧州文化首都代表者によるプレゼンテーション

※欧州文化首都(European Capital of Culture)は、1985年に発足した、欧州連合(EU)において最もよく知られた文化事業の1つ。

▼お問合せ先
経済産業部 商務通商課
☎098-866-1731

7月18日、EU・ジャパンフエスト日本委員会主催、沖縄県及び沖縄総合事務局の共催のもと、「Meet Up ECoC! -Face to Face- 2026 in Okinawa」を那覇市内で開催しました。

本イベントは、日本と欧州の文化・芸術分野における交流促進と共創のきっかけづくりを目的としたマッチングイベントです。今年「首里城正殿の復元」という歴史的節目を迎える沖縄が地方開催地として選ばれ、10ヶ国の欧州文化首都開

催国のディレクターが来沖しました。当日は、各欧州文化首都における文化政策等の取組み紹介をはじめ、三線、首里織、漆芸、現代アートなど、沖縄で活躍している文化・芸術関係者による地域に根差した活動や歴史・文化の魅力を発信しました。

参加者同士が交流を深め、新たなネットワークの構築につながり、沖縄のクリエイティブな才能がヨーロッパ、そして世界に広がる貴重な機会となりました。

仕事の窓10

運輸部



9月は自賠責制度
広報・啓発期間です！
「交通事故からあなたの未来を守る」

沖縄総合事務局運輸部では、毎年9月を「自賠責制度広報・啓発期間」と定め、自賠責(※)制度の重要性や役割、無保険・無共済車運行の違法性等について広報・啓発活動を実施し、自賠責への加入促進を図っています。

軽二輪(排気量126〜250ccのバイク)や原動機付自転車、電動キックボードやペダル付き電動バイクなどの車検制度のない車両については、自賠責の期限切れに気付かないまま使用される事例が多数見受けられます。

令和7年度は、沖縄県内で確認した39,821台のうち、1,222台について自賠責の期限切れの疑いがあるとして、通知書を交付しました。自賠責への加入は法律で義務付けられています。自

あなたの自賠責が、
みんなの交通社会を支えている。



賠償の有効期限を今一度ご確認いただき、期限切れのないよう更新をお願いします。

※自動車損害賠償責任保険及び自動車損害賠償責任共済

▼お問合せ先
運輸部 陸上交通課
☎098-866-1836

令和8年度 所長表彰受賞者名簿

【従業員】（13名）

氏名	事業場名
高里 健	琉球ダイハツ販売株式会社
新川 理美	沖縄ふそう自動車株式会社
仲宗根 武	琉球日産自動車株式会社
永田 剛	沖縄マツダ販売株式会社
奥間 勝子	沖縄トヨタ自動車株式会社
古謝 あずさ	沖縄バス株式会社
外間 亘	沖縄バス株式会社
新垣 学	沖縄バス株式会社
我如古 直希	東陽バス株式会社
又吉 勝広	東陽バス株式会社
仲里 次広	ニッポンレンタカー 琉球株式会社
古堅 宗昭	株式会社日産レンタリース沖縄
安田 弘成	株式会社日産レンタリース沖縄

【安全性優良事業所】（1事業所）

事業場名
株式会社りゅうせき中部物流センター

【運行管理者】（4名）

氏名	所属団体・事業場名
仲里 常幸	株式会社小禄運輸
比嘉 晃	株式会社小禄運輸
宮城 輔	株式会社ロジカルサポート
仲村渠 義紀	前田運輸株式会社

【運転者】（4名）

氏名	事業場名
赤嶺 英樹	那覇バス株式会社
宮城 勝吾	沖縄バス株式会社
我那覇 秀俊	沖縄バス株式会社
前原 盛和	沖縄バス株式会社

【整備士】（5名）

氏名	事業場名
松島 博文	沖縄バス株式会社
新垣 寛穂	合資会社牧港オートサービス
山城 盛安	沖縄ふそう自動車株式会社
吉田 悟	UDトラックス株式会社
下地 輝彦	株式会社スズキ自販沖縄



▼お問合せ先
運輸部 陸運事務所
☎098-877-5140



受賞者全員と記念撮影

令和8年6月15日、沖縄総合事務局陸運事務所（浦添市）において、「令和8年度陸運関係功労者等陸運事務所長表彰式」が開催されました。本表彰は、自動車運送事業や自動車整備・販売・貸渡事業に従事し、長年にわたり業界の発

展に貢献した方々を顕彰するものです。表彰式では受賞者に表彰状が授与され、その功績が称えられました。受賞者や事業所の取組は、地域の安全・安心な輸送サービスを支えるものであり、今後の業界発展への貢献が期待されます。

仕事の窓11

運輸部

令和8年度 陸運関係功労者等 陸運事務所長表彰式を開催

海事関係功労者表彰式典

7月21日に那覇市内のホテルにて『令和8年「海の日」海事関係功労者表彰式典』を開催しました。

個人10名に対し沖縄総合事務局局長表彰の授与を行いました。また、「令和8年度第63回中学生海の絵画コンクール」受賞者への表彰も行い、沖縄総合事務局局長賞（金賞）受賞の南風原町立南風原中学校3年金城江莉奈さんをはじめ、10名の中学生を表彰しました。

仕事の窓12

運輸部

2026年「海の月間」について 海への理解を深めていただくための 取組を行いました

中学生海の絵画コンクール受賞作品の展示

7月27日から7月30日にかけて、当局1階行政情報プラザにおいて、「中学生海の絵画コンクール」受賞作品（10作品）の展示を行いました。



行政情報プラザでの絵画の設置状況



大臣・局長表彰受賞者の集合記念写真

▼お問合せ先
運輸部 総務運航課
☎098-866-1836

仕事の窓13

開発建設部

開発建設部所管優良業者等の表彰・災害復旧等支援活動感謝状について

令和8年7月15日に、「令和7年度沖縄総合事務局開発建設部所管事業優良業者・優秀技術者表彰式及び災害復旧等支援活動功労感謝状贈呈」を開催しました。

優良業者等表彰は、開発建設部所管事業の円滑かつ適正な実施の確保と技術の向上を図るため、他の模範として推奨に値する優れた業者及び技術者を表彰するものです。令和7年度に完了した工事108件及び業務200件の中から、各部門において特に優秀な成績を収められた優良業者12社及び優秀技術者10名に対し、局長表彰を行いました。

災害復旧等支援活動功労感謝状贈呈は、沖縄地方において、社会的影響が大きな災害が発生した際、災害復旧等に多大な貢献をいただいた企業に対し感謝状を贈呈する

ものです。令和7年度は、台風第8号による浸水被害に伴う排水作業にご尽力いただいた2社と、11月の断水発生時に応急給水作業にご尽力いただいた2社の計4社に感謝状を贈呈しました。

・優良施工工事部門	4社
・ICT活用工事部門	2社
・安全施工工事部門	2社
・優良業務部門	4社
・優秀工事技術者部門	4名
・優秀業務技術者部門	3名
・若手優秀技術者（工事部門）	1名
・若手優秀技術者（業務部門）	2名

また、同日、開発建設部長表彰も行い、優良施工工事部門1社、優秀工事技術者部門1名、若手優秀技術者（業務部門）1名を表彰しました。



沖縄総合事務局長表彰



災害復旧等支援活動功労感謝状



開発建設部長表彰



◀詳細はこちら
(沖縄総合事務局 HP)

▼お問合せ先
開発建設部 管理課
☎098-866-1901

Personnel Transfer

人事異動

Information
お知らせ



政策統括官

名 前 稲原 浩(いなはら ひろし)
出身地 埼玉県
略 歴 平成6年 自治省入省
内閣府地方分権改革推進室長を経て現職
趣 味 ジョギング、陶器鑑賞
抱 負 沖縄の皆様とともに未来に向けて歩みを進められるよう全力を尽くします!



官房審議官

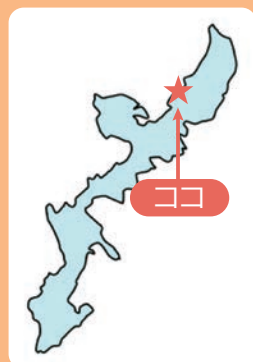
名 前 小林 明生(こばやし あきお)
出身地 長野県
略 歴 平成8年 総務庁入庁
内閣府北方対策本部参事官を経て現職
趣 味 読書
抱 負 沖縄担当部局に勤務するのは18年ぶりとなります。
沖縄のために少しでも政策を前に進めるよう取り組んでいきたいと思っています。



うちな〜んQ

今日から使える
沖縄雑学クイズ

喜
如
嘉
の
芭
蕉
布



出題：大宜味村の名産、芭蕉布。原料の糸芭蕉は何の仲間？
いと ばしょう

- 1 バナナ 2 さとうきび 3 パイナップル

芭蕉布は、バナナの仲間である糸芭蕉の繊維から作られる沖縄の伝統的な織物です。「とんぼの羽のように透けるほど薄くて軽い」と評され、高温多湿な沖縄の気候に適しています。1974年には、喜如嘉の芭蕉布は国の重要無形文化財に指定されました。

大宜味村立芭蕉布会館は、制作に携わる方々の合同作業や研修のための施設です。1階の展示室では作品の販売・展示や制作工程のDVD上映が行われており、2階の作業場では、伝統工芸の継承を担う方々の研修等が行われています。



正解は **1 バナナ** です！



次長（開発建設担当）

名 前 伊藤 高（いとう たかし）
出身地 愛媛県
略 歴 平成4年 建設省入省
埼玉県副知事を経て現職
趣 味 旅行、ゴルフ
抱 負 初めての沖縄勤務となります。県内各地を回り、皆さまと交流を深めながら沖縄の風土や文化を体験し、地域の振興・発展に尽力してまいります。



農林水産部長

名 前 天野 宏之（あまの ひろゆき）
出身地 兵庫県
略 歴 平成14年 農林水産省入省
農林水産省経営体育成基盤整備推進室長を経て現職
趣 味 旅行、ドライブ
抱 負 20年ぶり2度目の沖縄総合事務局勤務の機会を頂きました。過去の経験を活かしつつ、一方で時代の変化も踏まえながら、沖縄振興に微力を尽くしたいと思います。



1682年、知花窯（ちばながま）、湧田窯（わくたがま）、宝口窯（たからぐちかま）の三つの窯が現在の壺屋に移設統合されたのが始まりです。製品は大きく分けて荒焼と上焼があり、前者には無釉（むゆう）の比較的大きな製品があり、後者には釉薬（ゆうやく）を施し沖縄独特の絵付け模様の製品が多く見られます。

壺屋焼

つばやき



壺屋焼の特徴と技法



壺屋焼の特徴は、その素朴さと力強さ。どっしりとした重量感のある器は、温かみと風格が見る者、使う者に、自然に伝わってきます。この力強さや温かみは、長い伝統に培われた技法と、土と炎によって産みだされるものです。（壺屋陶器事業協同組合HPより）



琉球漆器の歴史は14世紀末頃に始まりました。木地（きじ）はデイゴ、エゴノキ等で、上塗りは天然漆（てんねんうるし）を用いた塗り立て技法で、特に朱の鮮やかさは他に例をみません。加飾（かしよく）は沖縄独特の堆錦（ついぎん）のほか螺鈿（らでん）、沈金（ちんきん）、箔絵（はくえ）など多彩な技法があります。

りゅうきゅうしつき

琉球漆器



漆器作りに最適な沖縄

沖縄は年間を通して気温と湿度が高く、漆器を製作するのに大変適しています。琉球王国時代には、交易品の一つとして数多く作られました。特に、漆の朱色の鮮やかさは、紫外線の強さと、亜熱帯の独特な気候風土によるものです。



Okinawa's Traditional Crafts

沖縄の伝統的工芸品

その2



1611年、薩摩から木綿の種子と織技術の導入により始まりました。琉球紬に使用されている幾何学模様（きかがもよう）は生活や自然を図案化したものが多く600種類に及びます。それらは、絹糸、綿糸、麻糸を用い素朴な味わいと端正な風格を表現します。

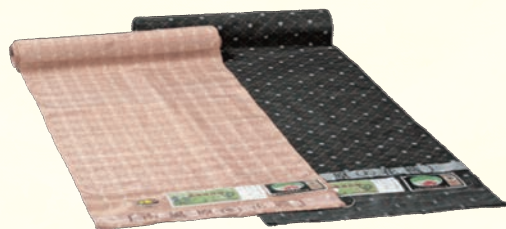
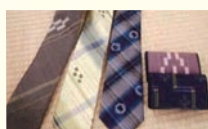
りゅうきゅうかすり

琉球紬



独特の紬模様

模様の一つ一つにはトゥイグワー（鳥）やダキノフシー（竹の節）などの動植物や、カザマラ（風車）トックイピーマ（徳利）の道具を基にした幾何学模様があり、多種多様の模様を組み合わせ、紬の美しさを表しています。



南風原花織

はえはるはなおり



南風原花織には、ヤシラミ花織、クワンクワン織り、タッチリーなど、独特の技法により模様は花のように美しく図柄に立体感がでて華やかな印象を受けます。南風原花織は紋織りという種類の織物で、紬などは経緯（たてよこ）の糸が1本ずつですが、花織の中には8本以上使い、他にはない美しい織物を作り上げていきます。

南風原花織の歴史

南風原町では、明治の頃から花織の技法を母から娘へ伝承した形跡があり、現在も改良されながら織り続けられています。



夏休みに内閣府を見学

こども霞が関見学デー

やんばるの森や波照間島から
オリジナルポストカードが届く!



沖縄から届いた星の砂で
オリジナルストラップ作り!



人と自然がつながる
「やんばる」の自然体験



令和8年7月29日～30日にかけて、「こども霞が関見学デー」が開催されました。

内閣府沖縄担当部局では、VRゴーグルで沖縄本島の最北端にある国頭村の星空を楽しむコーナーや未来の沖縄のまちを体験するコーナー、星の砂オリジナルストラップ作成、ポストカード作成、OIST（オイスト：沖縄科学技術大学院大学）認知脳ロボティクス研究ユニットの藤森嵩人さんによるロボットについてのキッズレクチャーなどを行い、こどもたちも笑顔で体験していました。

沖縄の未来のまちを
覗いてみよう!

～あなたが主役!どんなまちを作りたい?～



ロボットに
「ここ」はあるのか
探ってみよう!



10月食品ロス削減月間

10月30日食品ロス削減の日

お客様の
「てまえどり」の流儀
いつもありがとうございます

めざせ!
食品ロス
ゼロ

食品ロス削減推進アンバサダー
ロバート 馬場裕之

「てまえどり」とは、日頃の買い物の際、購入
してすぐに食べるものについて、商品棚の
手前にある商品等、販売期間の迫った
商品を積極的に選ぶ行為



事業者と家庭からの「もったいない」食品ロスを減らすため、関係省庁が連携し国民運動
「NO-FOODLOSS PROJECT」を展開しており、この運動のロゴマークが「ろすのん」です。
ろすのんは、食品ロス削減を積極的に取り組む意思表示として使うことができます。



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



出典：消費者庁

「食品ロス」とは、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品のことです。

家庭や外食、事業活動の中で、まだ食べられる食品が多く捨てられています。

令和6年度の日本の食品ロスの発生量は

約461万トン（うち家庭系約224万トン、事業系約237万トン）と推計されました。

食品ロスを減らすことは、限りある資源を大切に、環境負荷の軽減にもつながります。

買いすぎない、作りすぎない、食べきることを心掛け、

一人ひとりができることから取り組みましょう。

未来につなぐため、食品ロス削減へのご協力をお願いします。



「食品ロス 減らして 増やそう ゆいまーる」

公式
Website



▶ <https://www.ogb.go.jp>

公式 X



▶ @okisokyoku

公式
Facebook



▶ @okisou.naikakufu

公式
YouTube



▶ @内閣府沖縄総合事務局